

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27005

「学ぶ力」	
実 態	課 題
<p>◇「自分の意見を進んで発言しようとする」児童の割合が札幌市の平均よりも10%ほど高くなっている。</p> <p>◇振り返ったことを次の学習に生かそうとすることができている。</p> <p>◇先生方や家庭の方からの支えに対し安心を感じながら、課題を解決するために、自分で方法を考える児童が多くいる。</p>	<p>◇他者との交流活動を楽しむことはできている一方、「人のよいところを見付けようとしている」児童の割合は札幌市の平均よりも5%ほど低くなっている。</p> <p>◇1日の時間の使い方について、自分で考えながら生活を送ることができる児童の割合が、学年が上がるに連れ低くなっている。また、計画を立てて学習を進めていくことに不安を感じている児童がいる。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇「自分にはよいところがある。」「自分が必要とされていると感じる。」「人の役に立ててうれしいと感じる。」などの自身の自己肯定感の高さを問う質問項目の結果が良い。また、「意見の違う人ともよく話し合おうとしている。」と答える児童の割合も多く、他者を受け入れる気持ちをよくもてている。一方で「人のよいところを見付けようとしている」の項目はあまり高くないと言える。引き続き、交流活動に力を入れながらも、他者の良さにも目を向けていくような指導・支援が必要になると思われる。</p>	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
○自分のよさに自信をもち、友達のよさも尊重できる力	
課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
<p>◇「わかる・できる・楽しい授業」を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが学習に主体的に参加できる、学習場面で活躍できる、仲間と学び合える、課題探求型の学習が成り立つようにする。 ・どの子も授業時間での自分の居場所ができ、基礎基本と併せて総合的な学力の向上につながるようにしていく。 <p>◇研究テーマ「先生も子どもも笑顔で日々を大切にできる研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけでなく、校内研究でもAARサイクルを導入する。 <p>テーマの設定→個人目標の設定→AARサイクル授業づくり→共有を繰り返すことで、日々の授業をより良くし、全員の授業力向上を目指す。</p>	<p>◇本校スローガンである「AKE（挨拶・感謝・笑顔）の花あふれる手稲東小学校」に基づき、委員会活動を自主的に行い、その結果を振り返る。</p> <p>◇総合的な学習では、Chromebookを使ってアンケート集計の結果を全校に紹介したり、宿泊学習での疑問を深く調べたりする。</p> <p>◇クラブ活動においては、設立の段階から児童の関わりをもたせ自ら運営するという意識を高める。今年度もクラブ勧誘も自分たちで工夫しながら、活動を行う。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
<p>◇調べ活動、表現活動、まとめの活動において、個やグループなど、場に応じたスキルを育成する。</p> <p>◇ノートに書く、本で調べる、新聞にまとめる等の活動との、バランスを考えた効果的な活用を行う。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>



